



森の楽校だより

VOL. 22

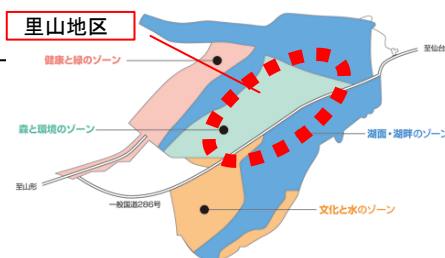


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

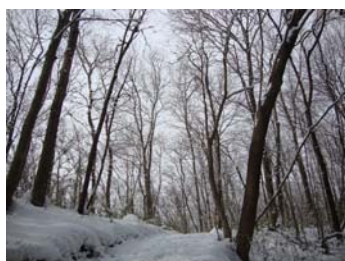
平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



1 月 26 日（土）曇り 板の製材、ツリーハウス 壁の仮組み

雪が積もった中での活動となりました。

年が明け、里山にも本格的な雪の季節がやってきました。昨日の強風はおさまりましたが、こんなに雪が積もった中での活動は今年度初めてのことです。足元などいつも以上に注意を払っての活動となりました。



すっかり雪景色となった里山の風景です。作業場の屋根には、20cm 以上の雪が積もっていました。

板の製材

雪の中でも板の製材作業は続いています。
これからは、ツリーハウスの壁に使う2cm厚の板材が中心になっていきます。



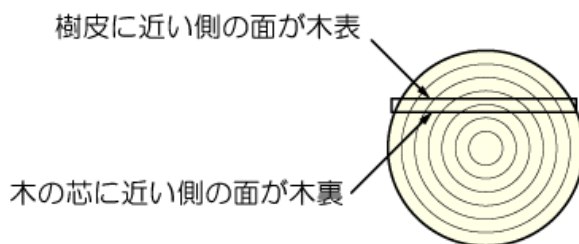
ツリーハウスづくり

ツリーハウスの仮組みは壁、屋根の段階まで進みました。いよいよ次回以降は、サードデッキに設置する作業に入ります。

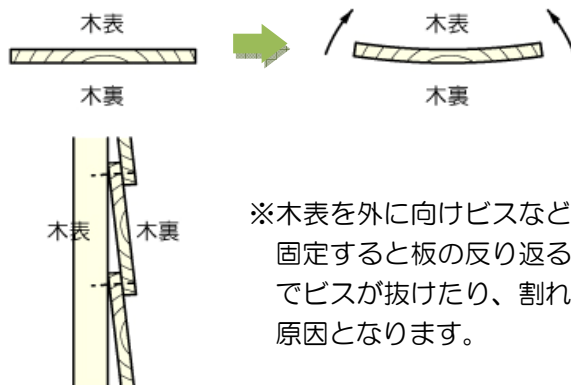


木材の性質

木を板などに製材すると、樹皮に近い側の面を木表（きおもて）、木の芯に近い側の面を木裏（きうら）といいます。
木材は、乾燥すると収縮しますが、組織の若い木表側がより収縮率の高く、木表側に反りが生じます。
ツリーハウスの壁板を取り付ける際にも、この性質を考慮し、木裏を外側に向け固定することで、板材の反りを防止します。



乾燥が進むと木表側に反る



※木表を外に向けビスなどで固定すると板の反り返る力でビスが抜けたり、割れの原因となります。

動物の足跡

雪の積もった里山ではこれまででは感じられなかった里山の棲む大型哺乳類の痕跡を見ることができます。



トウホクノウサギ



カモシカ



キツネ